

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	清原
	全体計画						経費区分		-		内線	3613
事務事業名	4249 児童センター運営事業											
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
施 策	02020900 子育て環境の整備											
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	030206 民生費・児童福祉費・児童センター費										
	事業	030000 児童センター運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
留守家庭児童に放課後児童健全育成事業を推進するための児童クラブの運営と、一般児童に対して健康の増進と情操を豊かにするための児童センターの運営。子育て支援事業の実施。						留守家庭児童を中心に放課後児童健全育成事業を推進するとともに一般児童に対しても健全な遊びの場を提供する。 また、午前中等を開放し、未就園児とその保護者の集まりの場として、子育て支援事業を実施する。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	登録児童と一般児童に対して、健全な遊びの場を提供した。また、講師を呼んでスポーツ・文化・交流事業を実施した。 未就園児とその保護者に遊びの広場としての活動が定着し利用された。
平成26年度 予定	平成27年度 予定
登録児童と一般児童に対して、健全な遊びの場を提供する。 未就園児とその保護者に遊びの広場を提供する。	

指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		21,646	22,769
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	8,236	8,421
	地方債	0	0
	その他	4,106	4,169
一般財源		9,304	10,179
人員数 (人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.3	0.3
人員 コスト	正規職員	1,371.6	1,371.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	353.1	353.1
	計	1,724.7	1,724.7
市民一人当たりの経費		0.4	0.5
総額		23,370.7	24,493.7

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	80	スポーツ・文化・交流活動推進事業講師謝礼 トランポリン教室講師謝礼
11節 需用費	1,537	消耗品費1,388,876円 食料費101,909円 印刷製本費29,925円 医薬材料費15,369円
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	54	児童館連絡協議会負担金 40,000円 会議等出席負担金 13,500円
その他	19,975	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	100	スポーツ・文化・交流活動推進事業講師謝礼 19,440円 野外活動看護師謝礼 7,865円 トランポリン教室講師謝礼 120,000円
11節 需用費	1,609	
13節 委託費	50	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	60	児童館連絡協議会負担金 40,000円 会議等出席負担金 20,000円
その他	20,950	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	児童の健康増進と情操を豊かにするために、児童に健全な遊びを積極的に提供することにより、健全育成と福祉向上を図るため。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	留守家庭児童に放課後児童健全育成事業を推進するとともに、一般児童に対しても健全な遊びの場を提供。 また、児童のいない午前中を開放し、未就園児とその保護者の集まりの場として、子育て支援事業を実施。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	地域との交流活動の実施。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
安心・安全な健全育成を継続実施。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>登録児童の放課後児童健全育成事業を推進と一般児童に対しても健全な遊びの場を提供することができた。また、午前中を開放し、未就園児とその保護者の集まりの場として、子育て支援の推進を図ることができた。</p>		<p>児童センターの機能を生かした事業で、児童の健全育成を図ることができた。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	